

(単位：円)

収入	わが家の家計				となりの家計	市の決算
	費目名		今月 (H25)	先月 (H24)	類似団体 (H24)	科目名
	給料	基本給	133,239	130,634	153,755	市税、使用料及び手数料、諸収入など
		諸手当	203,094	223,649	212,643	地方交付税、国・県支出金、各種交付金など
		小計	336,333	354,283	366,398	
	前月からの繰り越し		4,400	9,052	14,802	繰越金
	預金の取り崩し		9,707	27,838	9,113	繰入金
	借金		49,354	97,197	42,257	市債
	合計		399,794	488,370	432,570	

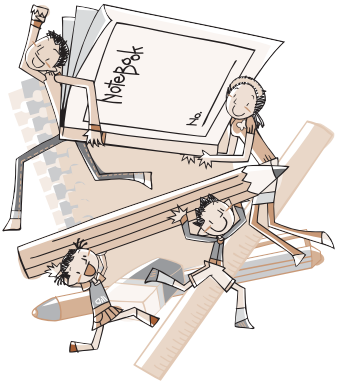
支出	(単位：円)					
	わが家の家計		となりの家計		市の決算	
	費目名		今月 (H25)	先月 (H24)	類似団体 (H24)	科目名
	義務的な経費	食費	78,896	78,025	66,779	人件費
		教育費・医療費	63,653	62,261	74,000	扶助費
		ローン返済	49,568	48,171	44,969	公債費
		小計	192,117	188,457	185,748	
出	サークル等各種会費		43,137	63,967	39,697	補助費等
	光熱水費		57,811	54,262	54,041	物件費
	子どもへの仕送り		49,225	49,659	40,928	繰出金
	耐久消費財の購入		41,694	97,688	55,694	投資的経費
	家の修繕費		2,757	2,915	4,457	維持補修費
	株式投資		2,181	2,352	7,783	投資及び出資金等
	預金		2,927	21,708	26,773	積立金
	その他雑費		0	0	0	前年度繰上充用金
	合計		391,849	481,008	415,121	

残高	(単位：円)					
	わが家の家計		となりの家計			
	費目名	今月 (H25)	先月 (H24)	類似団体 (H24)		
	借金残高	558,360	546,542	364,949		
	預金残高	62,504	64,269	79,597		

※普通会計
一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・墓園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計の4会計と簡易水道事業特別会計の一部をあわせたものです。

家計の特徴	
〈収入〉	〈支出〉
今月の給料が減少しました。これは先月一時的に増えた諸手当が減ったためです。 また、先月に土地開発公社の解散経費や保健福祉センター建設などに伴って増えた借金や預金の取り崩しが、今月は減っています。	サークル等各種会費が減少しました。これは土地開発公社の解散経費がなくなったことによるものです。 耐久消費財購入費が減少しました。これは保健福祉センターやあやの台小学校建設、市内小中学校の耐震補強工事完了に伴う事業費がなくなったことによるものです。 預金が減少しました。これは開発協力金や企業誘致用地売却収入をもとにした積立金の減少によるものです。

ここでは、市の普通会計（※）の決算を一般家庭の家計（わが家の家計）に置き換えてみるとどうなるのかについて説明します。
わが家の家計における金額は、市の決算額を年度末の市の住民基本台帳登録者数（平成25年度末 66,069人）で割ったもので、「今月」とは平成25年度を表現しています。



財政状況を一般家庭の家計にたとえると

平成25年度 決算報告

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。

今回は、平成25年度決算の概要などをお知らせします。
【財政課】

一般会計決算の状況

歳入総額 260 億円

地方交付税

78 億円 (30.0%)
人口や税収などに応じて国から配分されるお金

市税

70 億円 (26.9%)
前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や会社からの法人税

市民1人当たりの負担約11万円

平成25年度末住民基本台帳登録者数より算出



市債

32 億円 (12.3%)
財政収入の不足を補う借入金

国庫支出金

27 億円 (10.4%)
国から配分されるお金

県支出金

16 億円 (6.2%)
県から配分されるお金

繰入金

6 億円 (2.3%)
貯金や他会計からの繰入金

その他

31 億円 (11.9%)
ごみ処理手数料や寄付金、施設使用料や分担金など



市民1人当たりのサービス約39万円

平成25年度末住民基本台帳登録者数より算出

景気悪化などによる法人税の減少はあるものの、たばこ税の増加などにより、前年度と比べわずかに増加しました

公共下水道事業特別会計へ約9億円、介護保険と後期高齢者医療特別会計へそれぞれ約9億円の繰り出しを行いました

財源不足を補う借金の減少や橋本市土地開発公社解散に伴う借り入れが完了したことにより、前年度と比べ約32億円減少しました

橋本市土地開発公社の解散経費がなくなったことにより、前年度と比べ約13億円減少しました

あやの台小学校や保健福祉センターの新築事業完了など、大型公共事業の減少により、前年度と比べ約38億円減少しました

平成25年6月26日の豪雨災害および9月16日の台風災害の復旧事業費などを支出しました

歳出総額 256 億円

人件費

51 億円 (19.9%)
職員給与・議員報酬など

扶助費

42 億円 (16.4%)
児童・老人・生活困窮者を援助するなど住民福祉を支えるための経費

繰出金

37 億円 (14.5%)
特別会計へ支出したお金など

公債費

32 億円 (12.5%)
借金（市債）の償還金

補助費等

29 億円 (11.3%)
各種団体などに対する補助金・負担金など

普通建設事業費

21 億円 (8.2%)
道路や施設の建設、また大規模改修経費など

その他

44 億円 (17.2%)
物件費・維持補修費・災害復旧事業費など

平成25年度 一般会計の主な事業

企業誘致事業

1億813万8千円

本市における雇用の拡大および税収確保のため、紀ノ光台Sゾーンの公園等の整備、法面保護工事およびG6街区の進入路工事等を行いました。



▶企業立地が進む「紀ノ光台エコヒルズ紀ノ光台用地」

がん検診等成人保健事業

1億5,328万5千円

日本人の死因の1位である「がん」の早期発見を目的とした啓発や検診、生活習慣病を予防・改善するための健康指導等に要するための経費を支出しました。



▲昨年の乳がん検診啓発

学文路中学校避難路整備事業

6,812万2千円



木造住宅耐震化促進事業

519万8千円

10戸の耐震診断と4戸の耐震補強設計審査を実施しました。また、耐震補強設計、耐震改修工事それぞれ4件に補助金を交付しました。

市役所本庁舎耐震改修事業

2億2,110万5千円



小学生医療扶助事業

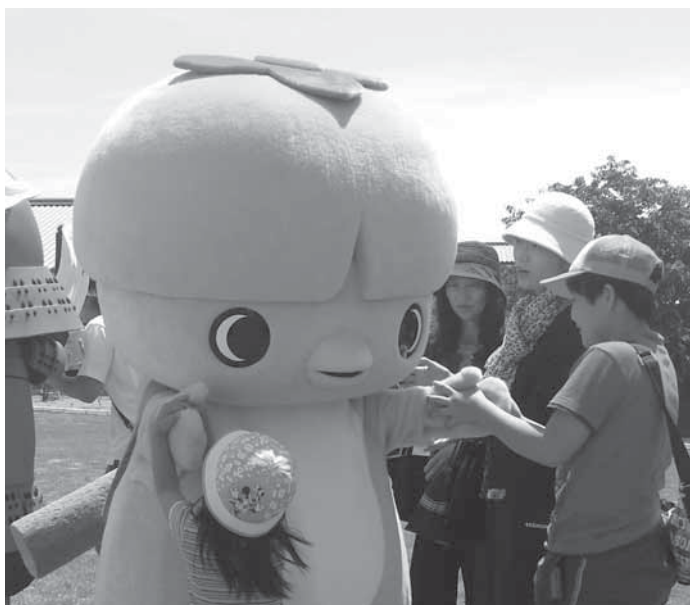
6,452万7千円

平成23年1月から本市の独自施策として実施している小学校修了時までの医療費無料化に伴う扶助を継続実施しました。

マスコットキャラクター製作費

92万3千円

観光振興や地場産品の販売促進を図るとともに、市のさまざまな魅力や特性を市の内外に親しみやすく発信するため、市マスコットキャラクターを製作しました。



▶さまざまなイベントで「はしぼう」は大人気

新婚世帯住宅取得補助金

2,610万円

若年層の定住を促進し、本市の人口維持および地域活性化を図るため、市内で住宅を取得した満40歳未満で、婚姻の日から3年を経過しない新婚夫婦に対し、最高で60万円を補助しました。平成25年度は56件の交付を行いました。



婚活支援推進事業、

婚活・ご成婚応援補助金

140万円

真剣に結婚を希望する男女に出会いの場を提供し、ひいては本市の少子化と人口減少に歯止めをかけるため、婚活イベントを6回実施（委託事業100万円）しました。また、当イベントを通じて婚姻に至った夫婦3組に対し、要綱に基づき40万円の補助を行いました。

消防通信指令共同整備事業

3億1,543万2千円

平成28年4月から開始する橋本市・高野町・伊都消防組合での通信指令共同運用に向け、指令システムや無線システムの構築、消防庁舎改修に係る設計等を行いました。

応其小学校特別教室移転事業

3,458万5千円

応其小学校の空き教室を改修し、特別教室を移転しました。

運動公園テニスコート整備事業

4,237万2千円

平成24年度に引き続き、橋本市運動公園にあるテニスコートの改修を行いました。

産業文化会館改修事業

8,483万7千円

産業文化会館の老朽化した空調設備や音響・照明設備の改修を行いました。



公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

水道

収益的収支の状況

収入 14.2億円 支出 14.1億円 差し引き 0.1億円

資本的収支の状況

管路更新や1号導水ポンプ更新など
収入 2.5億円 支出 9.8億円 差し引き △7.3億円

病院

収益的収支の状況

収入 61.3億円 支出 64.8億円 差し引き △3.5億円

資本的収支の状況

HCU（高度治療室）、東館の建設工事など
収入 9.2億円 支出 12.4億円 差し引き △3.2億円

特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

国民健康保険

疾病、負傷などをした場合に
必要な給付を行う医療保険

収入 76.2億円 支出 73.7億円 差し引き 2.5億円

農業集落排水

市内4箇所にある浄化センターの維持管理

収入 1億円 支出 1億円 差し引き 0円

簡易水道

西畑・九重・嵯峨谷・竹尾地区の飲料水供給

収入 0.2億円 支出 0.2億円 差し引き 0円

土地区画整理

橋本駅前地域の区画整理事業

収入 7.4億円 支出 5.7億円 差し引き 1.7億円

住宅新築資金等貸付

過去に貸し付けを行なった新築費用などの資金回収

収入 0.7億円 支出 0.5億円 差し引き 0.2億円

介護保険

要介護認定業務および介護保険サービスの給付

収入 60.3億円 支出 59.1億円 差し引き 1.2億円

公共下水道

家庭などから出た汚れた水の処理・浄化

収入 20.7億円 支出 20.6億円 差し引き 0.1億円

訪問看護

自宅で療養する人への医療処置と看護、療養指導と介護指導

収入 0.7億円 支出 0.7億円 差し引き 0円

駐車場

橋本駅前のコインパーキングの管理運営

収入 367万円 支出 271万円 差し引き 96万円

後期高齢者医療

原則75歳以上の高齢者医療制度に関する各種受付、保険証の交付

収入 13.6億円 支出 13.5億円 差し引き 0.1億円

墓園

赤塚・名倉地区にある墓園の維持管理

収入 0.3億円 支出 0.2億円 差し引き 0.1億円



財政指標

財政状況が良好であることを示す指標として財政健全化判断比率（右表）があります。これらの比率は4つの指標からなり、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の指数などでは、和歌山県内他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

財政力指数 0.491

標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合（数値が高いほど財政に余裕がある）

県下9市中
6位
平均0.525

経常収支比率 96.6%

市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合（100%に近いほど財政にゆとりがない）

県下9市中
8位
平均92.2%

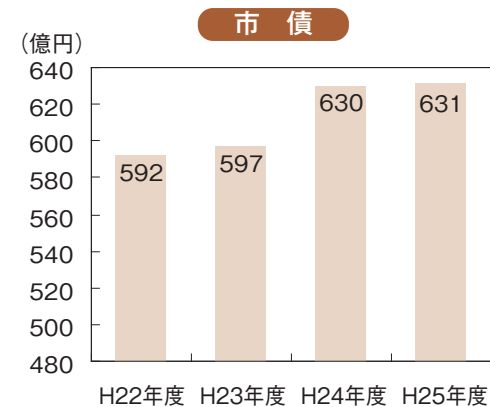
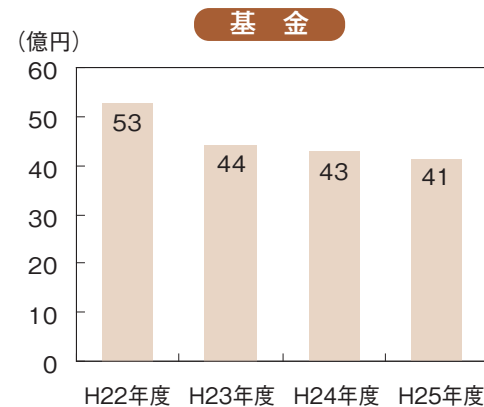
財政健全化判断比率

指標	内容	橋本市	早期健全化基準 ^(※)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.74%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.74%
実質公債費率	年間の借金返済額の割合	11.8%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	145.1%	350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取り組む必要があります。

危険信号

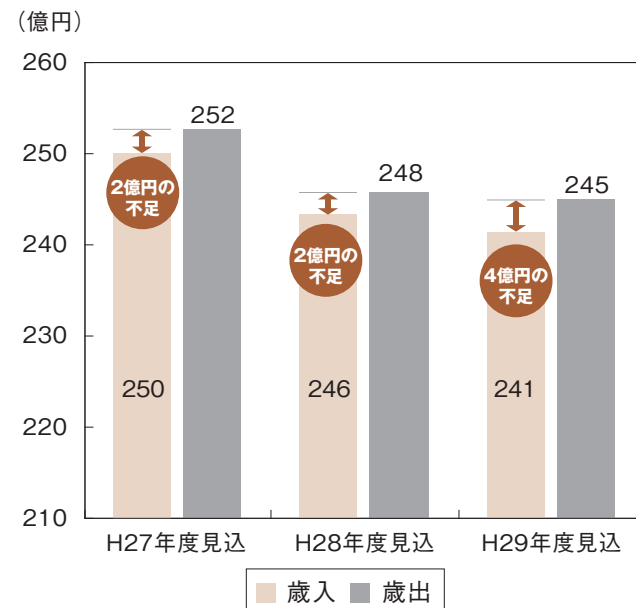
基金と市債



特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して2億円減少し、41億円（うち財政調整基金14億円）となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金（市債）残高は、前年度と比べて1億円増加し、631億円となりました。

今後の見通し



高齢化や人口減少、また景気低迷などにより、市税などの収入が伸びない一方で、医療や福祉などにかかるお金が増え、厳しい財政状況が続きます。

お金が足りない状況が今後も見込まれるため、
お金の使い方や集め方の見直しを進めていきます

- 市役所自らが努力して節約
事務事業を見直し、さらなる経費削減に努めます
- サービスの見直し
コストや利用者の負担に見合ったサービスの提供を行います
- 事業の重点化
公共事業などは、計画に沿って優先度の高いものから行います
- 財産の有効活用
市有地や公有財産の売却を進めます